大雨・強風に備えよう

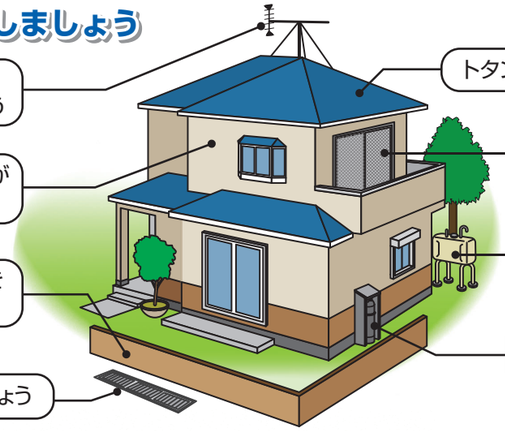
① 避難場所や避難経路を確認しましょう

日頃からハザードマップを見ておきましょう。

② 防災グッズを点検しましょう

非常持出品、非常備蓄品を定期的に確認しましょう。

③ 家の点検・整備をしましょう



危険が近づいてきたら…

気象情報を確認しましょう

強風時は窓ガラスにガムテープを貼りましょう

外出は控えましょう

植木などは室内に入れましょう

大雨のときは貴重品を2階に置きましょう

竜巻注意情報が発表されたら…

竜巻注意情報が発表されたときや、竜巻のきざしを発見したら身を守る行動をとりましょう。

竜巻のきざし

急に冷たい風が吹いてきた

真っ黒い雲が近づいてきた

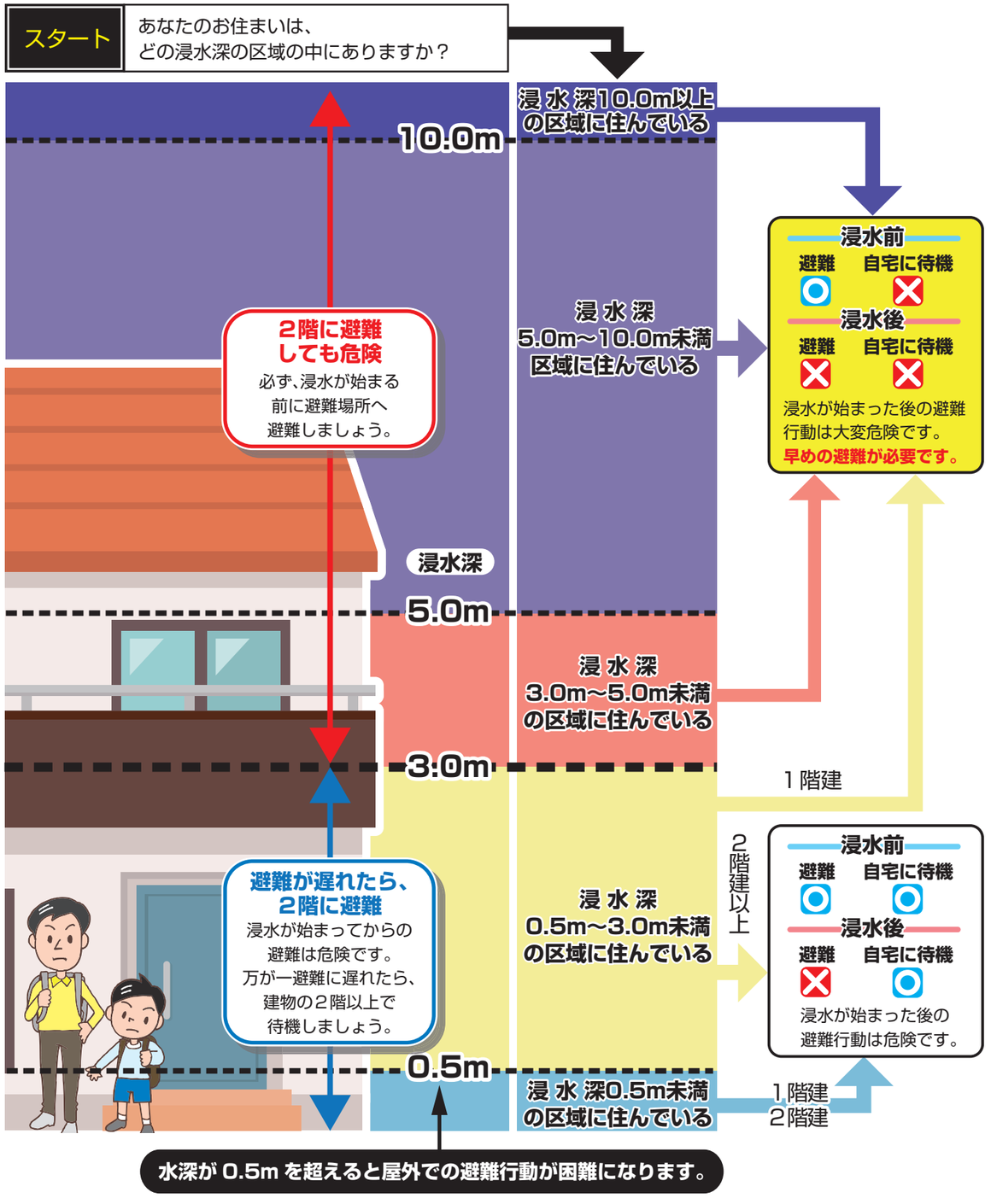
雷の音が聞こえてきた

屋内では…

・窓やカーテンを閉めて窓から離れる。
　大きなガラス窓の下や周囲は大変危険。
・家の 1 階の窓のない部屋に移動する。
・丈夫な机やテーブルの下に入るなど、
　身を小さくして頭を守る。

屋外にいたら…

・頑丈な建物の中へ避難する。
・避難できないときは物陰に入って身を小さくする。
・シャッターが開いていたら閉める。
・物置や車庫・プレハブ（仮設建築物）への避難は危険！

適切な避難行動を確認しよう

洪水（河川の氾濫）によって市街地や建物、畑が水で覆われることを浸水といい、その深さを浸水深といいます。
一般の建物では、**浸水深が0.5m未満の場合は床下浸水、0.5m以上になると床上浸水**するおそれがあり、**3m以上では2階も浸水する**おそれがあるため、2階への避難ができません。
洪水の正しい避難行動は、**「浸水が始まる前に避難する」**ことですが、万が一の事態に備え、ハザードマップ（P13～P26）で自宅が浸水するか、浸水深はどのくらいか、避難ルートは浸水するかなどを確認し、下の図からいざというときの避難行動について確認しておきましょう。